



新たな門出を祝う

宮農励ましの会

卒業後、農業・食品関連産業に進学・就職する7名の生徒たちを激励する「宮農励ましの会」が開催されました。多くの来賓の方々から激励の言葉をいただき、今後に向けての決意を生徒代表者が述べました。現在、開発中のみかんジュースの最終提案も行われ、授業で製造したジュースが配布されました。これまで学んできた専門的な知識・技術を活かし、さらなる活躍を期待しています。



自分の将来について考える

進路体験発表会&進路講演会

進学・就職する3年生の「進路体験発表会」が行われました。進路が決定するまでの取り組みなどを4名の3年生が発表しました。1年生の時から準備してきた生徒もおり、早い時期から進路について考えることの大切さを再認識することができました。さらに、南薩地域振興局主催による「南薩地域で働く魅力」講演会も開催されました。



上:「進路体験発表会」の様子
下:「南薩地域で働く魅力」講演会の様子



講演会も開催されました。地元で働く方々からの話を聞くことができ、自分の将来を考える機会となりました。

シクラブ交流会開催

カードゲームで思い出作り

生活福祉科3年生の卒業を前に、シクラブ主催による交流会が行われました。生徒・職員が6グループに分かれて、カードゲーム(ババ抜き、神経衰弱)を行い、生活福祉科の中で、カードゲームの最も強い者と弱い者を決定するという面白い内容です。勝ちたい人もいれば、最弱だけは免れたい人、それぞれの思惑の中で、真剣な駆け引きが繰り返りひらけられました。生活福祉科全員が集まる最後の機会になった交流会、みんなで良い思い出を作ることができました。



認知症サポーター養成講座

食農・プロデュース科・生活福祉科の1年生が、南さつま市認知症サポーター養成講座を受講しました。この講座は、認知症に対する正しい知識を学び、認知症の人やその家族への理解を深めるための講習です。食農プロデュース科の生徒は、認知症の人への接し方など、初めて知ることも多かったようです。生活福祉科の生徒も、認知症について理解をさらに深める機会となりました。



初めて知ることも多かったようです。生活福祉科の生徒も、認知症について理解をさらに深める機会となりました。

旬な情報を

毎日お届け!!



公式ブログ



公式HP



南薩少年自然の家主催
なんさつ春フェスタ 参加



在校生から3年生へ
コサージュ贈呈



茶道体験